

RACING PROGRAM

東京競馬場・京都競馬場・新潟競馬場

レーシングプログラム

出走馬一覧表

2024.5.4

京都新聞杯 [GII]



未来へ、走り続ける。



NHKマイルカップ キングカメハメハ

JRA 70th Anniversary メモリアルヒーロー

HERO IS COMING.

海外競馬発売

ケンタッキーダービー [G1]

前日発売

NHKマイルカップ [G1]

JRA70周年記念 新潟大賞典 [GIII]

第29回NHKマイルカップ(GI)

発走15時40分

1600m(芝・左)Aコース使用

このカラー版出馬表の内容は5月3日12時00分現在のものです。その後に出走取消、騎手変更等が生じる場合がありますのでご注意ください。

Main table containing race details: 枠番 (Saddle Number), 馬番 (Horse Number), 父馬名 (Sire Name), プレーティング (Rating), 勝負服 (Silks), 性別毛色 (Sex/Color), 騎手名 (Jockey Name), レース頭数 (Race Count), 負担重量 (Weight), 過去3走成績 (Past 3 Races), 距離 (Distance), 馬場 タイム (Track Time), 過去3走成績・前走 (Past 3 Races/Previous Race), 過去3走成績・3前走 (Past 3 Races/3 Races Before).

※プレーティングは、原則としてGI・JPN1競走は6着まで、その他の重賞・オープン競走は4着までのレーティング値が対象となり、昨年のJPNサラブレッドランキング(外国馬はワールドベストレースホースランキング)と本年度レーティング最高値のうち高い方を掲載しております。プレーティングの〔 〕内数字は2歳時のものです。レーティングの詳細につきましては本誌中面に掲載しております。

キングカメハメハ

39,460票



2004年 NHKマイルカップ(GI)

春の府中に降臨した大王

春の東京で行われる3歳GIのうち、史上初めてNHKマイルカップと日本ダービーを両方制した馬、それがキングカメハメハだった。

2歳秋は新馬戦、エリカ賞と2戦2勝。3歳となった2004年は初戦の京成杯で3着と生涯唯一の敗戦を喫するが、すみれS、毎日杯をいずれも2馬身半差で連勝したキングカメハメハは、皐月賞をパスしてNHKマイルカップへと駒を進めた。

相手はニュージーランドTなど4連勝中のシーキングザダイヤ、皐月賞3着から臨む快足馬メイショウボーラー、朝日杯フューチュリティSの覇者コスモサンビームなど多士済々。しかし、速い流れの中を中団で追走したキングカメハメハは、直線で外から凄まじい末脚を繰り出すと、あっという間に抜け出して差を開く。最後は、今もレース史上最大着差となっている5馬身差でゴール。勝ちタイムは当時のレースレコードという、まさに衝撃的な圧勝を飾ったのだった。

続く日本ダービーもハーツクライやダイワメジャーらを相手に1馬

身半差、当時のコースレコードで勝利。同じ松田国英厩舎の先輩であるクロフネやタニノギムレットでも成し遂げられなかった2つのGIのダブル制覇は「変則二冠」として讃えられた。

秋も始動戦の神戸新聞杯を勝利したキングカメハメハは、天皇賞(秋)を目指す中、屈腱炎を発症し、わずか8戦で引退。しかし種牡馬入り後の活躍は、現役時代に優るとも劣らないものとなった。

2010、11年にJRAリーディングサイヤーに輝いたキングカメハメハは、以降も首位こそディープインパクトに譲ったが、7年間、2位を堅持した。産駒のJRA通算勝利数はディープインパクト、サンデーサイレンスに次ぐ歴代3位。ロードカナロア、アパパネ、ドゥラメンテ、レイデオロ、ホッコータルマエなどの名馬、後継種牡馬を輩出し、19年の死後もなお、日本競馬に多大な影響を与え続けている。

第9回 NHKマイルカップ(GI)

2004年5月9日 東京競馬場 1600m(芝・左) 雨・良 18頭

着順	馬名	性齢	斤量	騎手名	調教師名	タイム/差	人気	通過順位
1	キングカメハメハ	牡3	57	安藤 勝己	松田 国英	1:32.5	①	⑨⑨
2	コスモサンビーム	牡3	57	四位 洋文	佐々木晶三	5	④	⑨⑨
3	メイショウボーラー	牡3	57	福永 祐一	白井 寿昭	1 3/4	③	③③
4	ダイワバンディット	牡3	57	北村 宏司	増沢 末夫	1/2	⑫	⑥⑥
5	ビッグファルコン	牡3	57	吉田 豊	中尾 正	2	⑯	⑮⑮

キングカメハメハ King Kamehameha 2001年3月20日生 牡 鹿毛

父:Kingmambo 母:マンファス 母の父:Last Tycoon
 生産:早来・ノーザンファーム 馬主:金子真人氏
 通算成績:8戦7勝

主な勝ち鞍
 2004年 日本ダービー(GI)、NHKマイルカップ(GI)、
 神戸新聞杯(GII)、毎日杯(GIII)

2004年日本ダービー(GI)

メモリアルヒーローファン投票結果

2023年に行った70周年メモリアルヒーローファン投票、本競走の結果は以下の通りです。
1位:キングカメハメハ(39,460票)

2^位 エルコンドルパサー 32,394票



無敗で1998年の本競走を制す。2着に1馬身3/4差をつける快勝であった。同馬は翌99年に日本調教馬として初めて凱旋門賞で2着に入ったことでも有名。

3^位 クロフネ 28,940票



2001年の優勝馬。単勝オッズ1.2倍という圧倒的人気を受けての勝利であった。秋にはジャパンカップダートに勝ち、同一年で芝・ダートの両GI制覇を飾っている。

4^位 ミッキーアイル 13,451票



2014年のNHKマイルカップを制したのが同馬。好スタートから最後まで先頭を譲ることなく、府中の長い直線をクビ差逃げ切って優勝したのであった。

5^位 アエロリット 12,103票



2017年の優勝馬。桜花賞(5着)からのローテーションで参戦すると、快足を生かして他馬を完封。2着のリエネソーロに1馬身半差をつけてGI初勝利を飾った。

